



目次	
会長あいさつ	1
退任あいさつ	1
退職校長会総会報告	1
役員名簿	2
全連退総会報告	2
生き生きライフ	2・3
退職校長会入会状況	3
会員交流広場	4
現職校長会情報	4
題字	安藤好子 (元 名古屋・野立小) 19年度入会
絵	高木喜代美 (元 名古屋・中島小) 25年度入会

会長あいさつ

「就任にあたって」

会長

加藤 正 躬



去る三月十七日、平成二十八年年度の総会において会長を仰せつかりました。

微力ではありますが、役員・会員の皆様のご支援をいただき、精一杯努めたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

さて、私たち退職校長会は先輩諸氏の思いを引き継ぎ、研修と会員相互の親睦を中心とした活動を進めています。その内容も年々改善を重ね、今日にいたっています。

今年度も、中川前会長がルールをしかれた、現職校長会との連携を引き続き進めてまいります。

さらに全国および東海北陸地区の退職校長会との関係につきましましては今まで同様の連携を考えています。

次に会の報告事項です。この三月に退職された二百三十

九名の校長先生方にご入会いただきました。ありがとうございます。おかげで諸経費を納入いただいている会員総数（七年会員）は千七百九名になりました。入会金三千円と年千円の諸経費を七年分ご負担いただいています。八年目以降は経費の負担はありませんが、会員資格は終身となっております。

また八年目以降の会報配布は、希望によりますが、二十七名の方に協力頂きました。感謝いたします。以上、報告し、就任のあいさつとさせていただきます。



退任あいさつ

『継続こそ力』

前会長

中川 正 明

私こと、この三月の総会をもって退職校長会長を退任させていただきます。

平成十七年の三月に現職を退き、引き続き本会の会員に仲間入りを果たしました。

以来、十一年間。先輩諸氏

のご指導を賜りながら活動に参加させていただきました。その間、役員の皆様や会員の皆様からいただきましたご指導、ご支援、ご協力に深くお礼申し上げます。

ありがとうございます。さて、「継続は力なり」と申しますが、自分は若い頃から好んで使った言葉ではありませんでした。

ところが、年齢も七十を超えるようになり、どんなことも維持や継続ができず、衰えばかりが目立ち、続けることの必要性を感じるようになりました。

この十一年間、先輩のお導きで、組織は継続性のある活動で一步ずつ前進を続けてきています。私自身も組織の一員として十一年間、会議の欠席は殆どゼロで参加できました。今となれば、誇りにも思えるようになりました。

本会が今後、全連退の仲間との連携、東海北陸の仲間との連携を維持・継続し、さらに、愛知県の現職校長会との交流活動を深められていくことを願っています。

会員の皆様には益々のご健康とご活躍をお祈りし、お礼のご挨拶といたします。

平成二十八年年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十七日（木）に名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

総会の冒頭挨拶で、中川正明会長は「七年会員制」のよさ、東海北陸地区による会報作成、現職の名古屋市校長会分団後の退職校長会の方向性について語られました。

その後、平成二十七年年度の事業報告、会計決算報告・会計監査報告、二十八年年度の事業計画（案）予算（案）の審議がなされ、議事はすべて承認されました。

役員の改選では、本会の発展にご尽力をいただきました中川正明会長がご退任され、新会長には加藤正躬氏が選任されました。また、柴田規矩司副会長がご退任され、大橋勝・太田武司・加藤學副会長が再任され、内藤俊巳・吉田文明氏が、新副会長に選任されました。

新役員を代表して、加藤正躬会長は「過渡期ではあるが三地域の力を合わせて前へ」と本会の発展について述べられ、総会は終了しました。

平成28年度 愛知県退職校長会 役員名簿 (敬称略)

会長 (名古屋) 加藤 正躬	副会長 (名古屋) 大橋 俊勝	支部長 (名古屋) 吉田 文	支部長 (名古屋) 鈴木 博志	支部長 (名古屋) 水越 光久	支部長 (名古屋) 廣沢 憲治	支部長 (名古屋) 坂野 重法	支部長 (名古屋) 岡田 豊	支部長 (名古屋) 江本 隆	支部長 (名古屋) 坂本 憲昭	支部長 (名古屋) 二宮 英二	支部長 (名古屋) 小林 啓子	支部長 (名古屋) 長坂 和哉	支部長 (名古屋) 寺崎 敏博	支部長 (名古屋) 山中 三子	支部長 (名古屋) 尾崎 智	支部長 (名古屋) 近藤 真澄	支部長 (名古屋) 鈴木 栄二	支部長 (名古屋) 金原 宏	支部長 (名古屋) 安東 要	支部長 (名古屋) 伊串 博	支部長 (名古屋) 井戸 則夫	支部長 (名古屋) 永田 淑子	支部長 (名古屋) 森 乙平	支部長 (名古屋) 本田 修三	支部長 (名古屋) 杉浦 宏幸	支部長 (名古屋) 山田 淳夫	支部長 (名古屋) 辻 正人	支部長 (名古屋) 小口 博則	支部長 (名古屋) 安藤 正紀	支部長 (名古屋) 河合 智仁	支部長 (名古屋) 伊藤 辰男	支部長 (名古屋) 村 良弘	支部長 (名古屋) 関口 大介	支部長 (名古屋) 栗田 万砂夫	支部長 (名古屋) 今井 雅良
----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------

平成二十八年度 全連退総会報告



副会長
大橋 勝

平成二十八年度第五十二回全国連合退職校長会総会が六月三日(金)、東京両国「江戸東京博物館」で開催された。本県からは、加藤正躬会長、加藤學・内藤俊巳副会長と私の四名が参加した。

戸張敦雄全連退会長が挨拶で①アクティブラーニング②カリキュラムマネージメント③チーム学校推進のための教育諸条件整備の要望への取り組み等を報告された。

来賓挨拶に続き、会務報告、決算報告、目標・事業計画等の七議案が承認された。

午後は、日本放送協会・解説主幹早川信夫氏の「教育改革の流れ」と題する講演が行われた。早川氏は、「週刊こどもニュース」制作の経験から、将来役に立つ学びについて述べられた。学習指導要領改訂に向けての議論の状況等に関する「ランティア」立ち上げの話題に触れられ、退職校長への期待を話し、講演を結ばれた。

生き生きライフ

ゼミ生とともに

22年度入会 山中 裕二
(元 豊田・高橋中)

北名古屋市の大学に居所をいただき、六年が経た。担当するのは、社会科指導法、生徒指導論などの教員免許必修科目を八コマ。ほかに、教育実習指導、高校訪問などもある。退職後もそうありたいと願っていた、今日用(教養)があり、大変ありがたい。

大学業務の中でもっとも濃密なのは、出口指導である四年生ゼミナール。研究室は、教員採用試験に向けて面接や論文の指導を受ける学生で大盛況。教師への篤い志をいなく彼らだけに、何としても合格させたい。そんな一念でずいぶん昔に袂を分けた関数などとも格闘している。

先日、こんな新聞記事に目をとめた。「大学の多くはブラック企業の極みだ」さらに、「ブラック大学の構図は、経営陣に加えて教授陣も加害者であり、被害者は無関係学生である」と続く。

思うに、学生の多くは苦学生である。ほとんど無審査で

奨学金を受給したうえにアルバイト漬けの毎日。月額十数万円の貸与であれば、卒業時は、マイナスイ百万の旅立となる。学生の借財を両肩に感じつつ、研究室の扉を開ける。

地球への恩返し

24年度入会 井戸 則夫
(元 犬山・東部中)

退職を機会に、今まで自分を育ててくれた地球への恩返しとして、沙漠緑化活動に取り組む始めて五年目になる。

私たちが取り組んでいる場所は、中国大陸の北部、内モンゴル自治区に広がる流動沙漠である。夏はうっすらと草が生えるが、冬場は荒涼とした風景になり、春先には乾いた砂が風で舞いあがり、黄砂となつて日本まで届く。

現地の子どもたちに緑化の意義を教えながら、将来商品価値のある実がなり、牛や羊に食べられない沙棘(サジー)を、一緒に植えている。昨年は夏休みを利用して日本の中学生も参加してくれた。

一緒に活動した現地の子どもの感想文に、「日本人は怖い人だと教えられていたが、優しい人だった」とあった。ささやかな活動ではある



筆者(井戸)
「内モンゴル緑化の会」の仲間と一緒に
草原のゲル生活もまた楽しいです。

が、地球の環境保全だけでなく、日中関係の改善にも一役買っているのではと思っている。荒涼とした大地に少しずつ緑が増えていくのを見るのが喜びである。

今年三月、中国大使館よりお招きがあり、郭公司より感謝状を頂いた。これを励みに今後も仲間を募りながら体が動く内は頑張ろうと思っている。

ゆつくりのんびり

25年度入会 小田原 晴夫
(元 名古屋・北山中)

小鳥のさえずりと蛙の鳴き声。鮮やかな新緑。ゆつたり流れる時間。満天の星空。

週末の土曜・日曜、長期休業日にゆつたり・のんびり田舎暮らしを楽しんでいる。飛騨川の支流の白川沿い。農園付きコテージの我が家。ここでの生活を始めて四年目を迎えている。

谷合の集落にあるので電波の状態が良くない。携帯は通じるがテレビ・ラジオ、新聞のない生活。(あえて断っている)読むか、寝るか、喋るか。三日以上たつとちよっと活字が恋しくなってくる。

狭い農園で、グリーンピー、ス、レタス、ブロッコリー、落花生等少量多品種の野菜作り。朝採りブロッコリーの鮮やかでおいしいこと。しかし、夏は雑草との闘い。

第一・三日曜日の「喫茶小田原(コーヒーとお茶菓のみ)」を開店しての地域の人との交流。朝夕の庭先でのおしゃべり。そして、誘われての筍掘り、栗拾い。左義長の春祭り、盆踊り等地域行事への参加。文化祭、公民館祭りへの下手な写真の出品。

たまの遠出は贅沢に立ち寄り湯と道の駅巡り。
我が家からは二時間ほどの時間を要するが、オフタイムの充実と気分転換。これがないよりの贅沢かな。

田畑を継ぐ

25年度入会 望月 彦男
(元 新城・千郷小)

「じいじ。じいじの作ったソラマメ、おいしい。」

三歳の孫と笑顔を交わす。
我が家の田畑は、戦国時代『長篠・設楽原の戦い』で連吾川をはさんで織田・徳川連合軍の鉄砲隊と武田軍の騎馬隊が壮絶な戦いを繰り広げた決戦場のど真ん中にある。その田畑に、「愛知のかおり」という銘柄の米や季節に応じたいろいろな野菜を作り、肉、魚以外は自給自足を目指している。

高校卒業時、専業農家の長男であった私は、「農業を継がずに教員になりたい」と父に言って、許しをもらった。その教員生活の傍ら、父母から教えてもらった農業の仕方・工夫、共に働いた経験が今の私の農作業に大いに活かされている。父母に感謝しながら、田畑に立つ私の姿を高い空からどう見ているのであるうか。私はなんとか継いでいるつもりである。

今日も孫が畑にやって来て、野菜を自分の手で採っていく。息子や孫がこれらの田畑をいかに継ぐのかを想いつつ、麦わら帽子をかぶり、日焼けした手で、草を取る。

自然の中での私の農作業は、自身の体力と健康の維持にもつながっている。

スローライフ

27年度入会 水田 博和
(元 春日井・出川小)

インターネットで「スローライフ」を検索すると、実に様々な解釈・考え方が出てきます。そもそも「スローライフ」という言葉は、日本で作られた和製英語で、「スローライフ」を直訳すれば「ゆっくり生活」。つまり「効率性重視の現代生活を見直し、自分の趣味・趣向に合った時間の過ごし方を出来るだけ大切にす生活スタイル」と言えるでしょう。

現職中は、日々の慌ただしさの中、ただただ走ってきまして。そして、日曜の夕方には「サザエさん症候群」を感じたものです。

退職後、自分の動きがゆっくりになると、まわりの動きもゆっくりに見えるようになり、今まで見えていなかったものが見え、新鮮な気持ちになつてきました。自分の足でゆっくり歩いてみると、近所の家の花や畑の作物に目がと

まります。何十年見逃していたのか、残念な気持ちになりました。

大雨や台風にやきもきすることなくなり、妻には「これで、やっと家庭を守つてくれる」と言われる次第です。家庭奉公をし、家庭菜園を楽しみながら、のんびりとした時間を過ごす。そんな「スローライフ」を心がけていきたいと思っています。

恩返し

28年度入会 河野 恒広
(元 名古屋・上名古屋小)

平成二十八年三月三十一日に定年退職して、四月一日から名古屋市立小中学校PTA協議会に勤めさせていただいている。

現職中は退職したら、「旅行」「映画鑑賞」「料理(男子厨房に入るべし)」に取り組みうと思っていたが、とんでもなく、全く余裕のない三ヶ月間だった。

現職時代は、教頭時代に開学百三十周年行事に携わったが、校長時代は、周年行事や大規模改修等にかかわることがなかった。

今回の勤め先は、一年目に東海北陸ブロックPTA研究大会名古屋大会が十月二十八

日、二十九日に開催される。また、三年目には名古屋市立小中学校PTA協議会が七十年を迎え、記念式典を行うことになっている。

市PTA協議会の活動は、名古屋の子どものための健全育成に役立つことを多く行っている。子どもたちのために役立っているという自己有用感を感じさせてくれる職場に勤務していることに感謝したい。人は経験によって成長することができると言われている。自分を育ててくれた学校教育への恩返しの気持ちと自己有用感が、今の私を毎日生き生きさせてくれている「源」である。

平成28年度 愛知県退職校長会 入会状況
(22年度～28年度会員数) H28. 3. 31現在 (人)

年度 地域	22	23	24	25	26	27	28	計
名古屋	66	65	68	66	65	61	70	461
三河	96	87	111	86	96	108	77	661
尾張	90	73	91	85	73	83	92	587
合計	252	225	270	237	234	252	239	1,709

会員交流広場

「駒送り」

27年度入会 伊藤 直也
(元 岡崎・城北中)



教員生活三十八年間を、絵にしました。子どもたちとの思い出が、懐かしく、よみがえってきます。

会報を読んでの感想・意見や会員の皆様の作品【絵画・書・写真・短歌・俳句等】をぜひお寄せください。詳細は、事務局まで。

「三室戸寺の蓮」

24年度入会 武藤 守裕
(元 名古屋・野立小)



あじさい寺として有名な京都府宇治市の三室戸寺。夏の時季には、蓮が大きな花を咲かせます。

鳥の木

28年度入会 大津 悟司
(元 一宮・奥小)



木口木版の小品です。柘植や椿などの輪切りを版木にし、ビュランで彫ります。これは、桜の破片を用いました。

現職校長会情報

平成二十八年度愛知県小中学校長会総会が、五月十七日(火)に、日本特殊陶業市民会館で開催されました。加藤会長は、力強く、かつ、

平成二十八年度

愛知県小中学校長会

役員・理事一覧(敬称略)

しなやかに、リーダーシップを発揮する校長会」を目指し、スピード感をもって課題に取り組もうと訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択が成され、新しい県校長会が力強く動き出しました。

- 会長 東海 加藤千博(加木屋小)
●副会長(五名) 山内敏之(山吹小)
東 稲熊和己(前津中)
中 伊藤雅明(新城小)
新 稲垣 寿(西尾小)
西 久保田力(日進西中)
日進 進
●監査(三名) 大島純子(末広小)
一宮 長谷川誓(東海小)
高 野々山知久(高浜中)
●庶務理事(六名) 高田和明(古知野南小)
江南 野木森広(岩倉中)
岩倉 本部鉄男(鳴海小)
緑 玉村文隆(城山中)
千種 坂部良二(前山小)
豊田 井上正英(小坂井中)
●会計理事(六名) 松村光洋(師勝小)
北名古屋 高橋 篤(青山中)
半田 赤堀英則(内山小)
千種 岡田博史(汐路中)
瑞穂 中谷眞人(日進小)
碧南 石川良一(安城中)
安城 奥村和人(武豊小)
●専門委員会・部会理事(十三名) 法 奥村和人(武豊小)



- 教育条件 二ノ宮正治(春日中)
学校経営 片桐常夫(浄水中)
進路 伊藤映充(幸田中)
保健体育 久田利夫(長根台小)
福祉安全 水野信輔(黄金中)
給食 宮崎幸恵(清水小)
生徒指導 山本克仁(田原中)
特別支援 尾関俊憲(岩倉北小)
広報 加藤雅也(緑丘小)
修学旅行 清水克博(香流中)
記念誌編集 服部幸彦(北河田小)
東陸小 水谷寛明(花ノ木小)

訃報(内はご逝去された日)

鈴木 千英先生(二八・二・二五)
元 南知多町立内海中学校校長
吉川 好三先生(二八・五・二五)
元 知多市立東部中学校校長
平成二十八年度一月二十二日から、六月十六日までにご逝去された、七年会員の方を掲載しました。

事務局だより

「いきいきライフ」「会員交流広場」にご多用の中、ご投稿をいただいた会員の皆様、ありがとうございました。会員の皆様の退職後の生活が輝きを見せていることが伝わってきました。

事務局は、七月一日より事務局長の水谷朋和が退任し、元大治町立大治中学校校長の上田信が着任しました。事務局員一同、皆様から信頼される事務局を目指して、今後も努力してまいります。

- 事務局長 栗田 錦治
○事務局次長 大橋 保友
○事務局次長 上田 信
○事務局員 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

四九番一〇号

愛知県教育会館六階

愛知県小中学校長会事務局内

TEL 〇五二・二六・一八・五二

FAX 〇五二・二六・一六・〇七

E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp